

へばだば

59

編集・発行：自立生活センターPingあおもり・就労継続支援B型事業所スタジオとまと・特定非営利活動法人ピアネット
038-0011 青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101/tel.fax：017-761-2770/e-mail：ping@ping-aomori.jp
http://www.ping-aomori.jp/ping_page/index.htm 発行責任者／佐藤 広則

「へばだば」=津軽弁で、「じゃあね」というような意味。

青森駅東西自由通路等の整備に関する意見交換会 に出席してきました

いままで長いあいだ、青森駅で車椅子に乗った人がホームまで行き来するときは、駅員に申し出て貨物用エレベーターを使わなければならなかった。

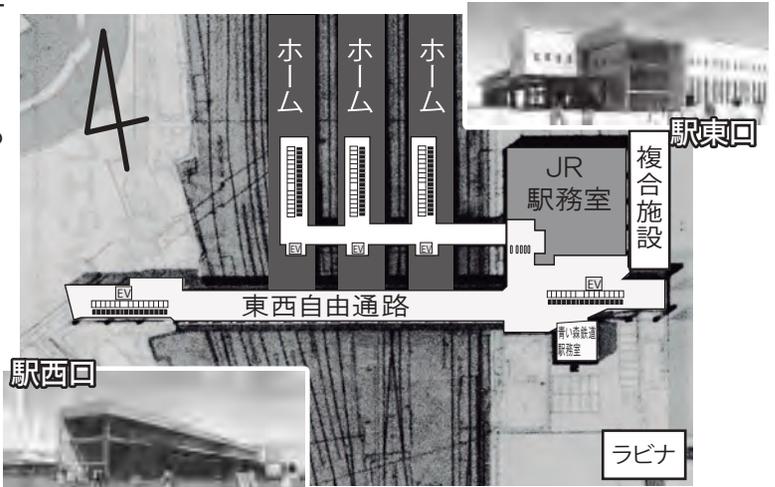
県庁所在地の中心駅にエレベーターが無いということもかなり珍しいと思うが、そんな青森駅がやっと大きく変わるとのことで、8月25日に開催された「青森駅東西自由通路を整備する(※1)ための障害者団体の意見交換会」に参加してきた。

出席者は、身体障害、視覚障害、聴覚障害、難病等の各団体からと、青森市都市政策課の関係者で、JRからの参加はなかった。

そこで出された様々な意見の詳細は、青森市のホームページに載っているが(※2)、概要の一部を紹介すると、一番多く上がった意見はトイレのことだった。「どこに設置するか」「屋外に設置するのはやめてほしい」「オストメイト用の設備を付けてほしい」「プライバシーを守るためにカーテンを二重にしてほしい」「介助用のベッドを付けてほしい」「自由通路の中心に設けてほしい」等々である。

次に多く上がった意見は、西口広場に関することだった。「新しく設けられる西口駅前広場駐車場に西口までひさしを付けてほしい」「西口前に整備される新しい駐車場の車椅子スペースが四台もあることは、良いと思う」などである。

他に視覚障害の方から「遅延情報や運行情報を流す電光掲示板を設置してほしい」「足元を照らす非常灯を付けてほしい」や、脊髄損傷の方から「東西自由通路に少しで



も傾斜を無くしてほしい」といった意見も出た。

ようやく、待ちに待った駅の改築であり、楽しみである。非常に楽しみであるが、どのような形で変わっていくのかを注視していく必要があると思う。

(※1) 青森駅のバリアフリー化と、東西自由通路整備を含む駅舎改築と、西口の再整備が一体となっている。事業主体は、東西自由通路部分と西口周辺の整備が青森市で、駅舎全体はJRが担当する。

総事業費は約100億円、期間は2年間で、来年度の着工と2020年の完成を目指すとして青森市は説明している。

(文・白戸駿平)

(※2)

<https://www.city.aomori.aomori.jp/toshi-seisaku/shiseijouhou/matidukuri/aomorieki-syuuhen/syougaisyadantai.html>

59号もくじ

青森駅東西自由通路等の整備に関する意見交換会に出席してきました	1	相談支援事業所ピアネットの『たまには聞いてよ。』	4
合同忘年会	2	年賀状&福祉展売上報告	4
白戸駿平の福祉タクシー見聞録	2	新人紹介	4
はるながまち(青森)にやってきた	3	編集後記	4
東京研修修道中旅行記	3		

自立生活センターPingあおもり・ピアノット・スタジオとまと・あおもり24 合同忘年会

12月9日、国際ホテル1階レストランクッカにて4団体合同の忘年会が行われました。
総参加者数36人で、美味しい食事とビンゴゲームなどを行い楽しい時間を過ごすことができました。



おいしいお料理



みんなで乾杯!!

白戸駿平の福祉タクシー見聞録 リンクタクシー（青森市）編

事の始まりは「へばだば」編集会議で、福祉タクシーについて記事を書けないかという話になりました。そこでスタジオとまとの利用者に福祉タクシーの利用についてリサーチしたところ大半の方が利用したことがないということだったので、情報不足を感じました。ですからこのコーナーを介して福祉タクシー情報をお知らせできればと思っています。

今回ご紹介するのは「株式会社リンクタクシー」です。リンクタクシーは、今年4月に文化タクシーと合同交通が合併し、県内IT企業の株式会社リンクステーションが運営する会社です。 リンクタクシー電話番号 017-741-6265

リンクタクシーの主な情報

予約方法	当日でも可能。(運転者確保のため前日予約が◎、夜間利用の場合、二日前予約が◎)
車両台数	6台(日産 NV200 型)
初乗り料金	490円(通常のタクシーとしても使えるので同じ運賃)
運送制限	無し(青森市が発着地点ならどこまででも運送可能)
試乗しての感想	一般的な車いすなら搭乗可能。構造の関係で斜めに車いすが傾いた。普段私達の事業所で送迎に使っている N-box+ と比較して、頭上は広々としてよかった。
備考	外国人旅行客のために親会社であるリンクステーションのノウハウを生かして、タブレット端末を車内に導入する予定。



取材風景



試乗中!!

今回の取材を通じて福祉タクシーの運賃は各社が運輸局に申請して決めているということを知ったので、興味深いお話が聞けてよかったです。最後に快く取材に協力してくださった対馬さんと佐々木さん、とても親切に対応してくださりありがとうございました。



今回の取材の様子は
リンクタクシーのfb
でも紹介されています
リンクタクシー
HPのQRコード

〈はるながまち（青森）にやってきました〉

かねてより楽しみにしていた、東京都国立市「ライフステーション ワンステップ かたつむり」の皆さんによる「はるながまち（青森）にやってきました」の観劇にスタジオとまと利用者6名・職員7名で参加してきました。「かたつむり」創設者三井絹子さんの施設との闘いの歴史から始まり、はるなさんの現在の生活の様子などがミュー

ジカル仕立てで演じられました。

府中療育センター闘争を「それがあって今がある」と考えるのは、それなりの年齢だったり人権意識に敏感な少数派かもしれないな～、若い当事者には遠い過去の出来事なのかもしれないな～と何となく感じました。

小耳にはさんだエピソード

三井絹子さんは家庭のお風呂での入浴は厳しいそうで、青森市内での一日目、ある入浴施設で気持ちよく入浴されたとか。ところが、次の日も訪れたところ、「他の客から苦情があったので」とフロントで断られたそうです。ここで闘争心に火がついた絹子さん。会社の上層部へ抗議を申し入れ、結果「ぜひまたお越しください」となったそうです。

観劇の前に「アウガ地下・リンゴ箱」でランチを楽しみました・観劇感想



ランチ・リンゴ箱にて

- 約六年ぶりにリンゴ箱に行って海鮮系のメニューが多くなった気がします。サーモンロールとても美味しかったです。おススメです。
- アウガの地下1階のリンゴ箱でランチを取り私はてんぷら定食を頼みました。待ち時間が長かったですが、おいしかったです。
- 今回の劇をとっても楽しみにしていました。私は大学で障害者の生活について授業でとっていたので知ってはいましたが劇を実際に見て教科書で書かれていたことが起こっているんだと改めて実感しました。内容は楽しいけれど深く考えさせられるものになっていて非常に勉強になりました。



東京研修珍道中旅行記

今回の白戸駿平は飛行機に乗って空の旅からスタート

11月21日、東京に4回目の研修に行ってきた。今回は、飛行機で羽田空港に向かい、秋葉原で研修を受けて羽田空港に行き、青森空港に帰るというルートだった。羽田空港に着くと、京急線浅草線直通エアポート快特で日本橋まで行き、日本橋駅でかなり迷いに迷ってコレド日本橋のトンかつ屋さんに行った。僕は、日本橋駅のエレベーターの何階に何があると言った表示が少なかつたため、もう少しその表示があるといいなというのと、コレド日本橋のエレベーターの車いす用ボタンにカバーが付いており、押しにくいなと感じ、改善が必要だと思った。

東京メトロと都営地下鉄との違いとは？

トンかつを食べて、東西線日本橋駅から東西線茅場町駅まで行き、日比谷線に乗り換えて、秋葉原駅に向かったときに驚いたことがある。東京メトロの職員は、「希望の乗車位置はありますか？」と聞いてきて驚いた。そこで僕は、「希望は特にはないですけど、エレベーターに近いところがいいです。」と言ってみると、「わかりました。この車両に乗るとエレベーターまでの距離が近いので、ここに乗せますがよろしいでしょうか。」と回答してきたので、「それでいいです。」と答えた。

秋葉原駅に着いて、2時間の研修を受けて、再び秋葉原駅から東銀座駅に行き浅草線京急線直通の空港快速に乗り、羽田空港に戻った。帰りも、もう一度乗車位置を聞かれて、東京メトロはすごいなと思った。しかし、都営地下鉄浅草線に乗ろうと思った時に、全く聞かれずに一両目に乗せられてしまったので、都営地下鉄と東京メトロではこんなに対応の差があるのかと思って驚いた。

そして、再び空路で青森へ!!

京急空港線で羽田空港国内線ターミナル駅に着き、羽田空港第一ターミナルでご飯を食べようと思ったのですが、どれもこれも高くて、安くておいしいものが食べられる店を探そうと思って、案内センターの受付のお姉さんに聞いているときに3階に吉野家があることを見つけて、吉野家が3階のどの辺にあるかと聞いたら、エレベーターはないため2階南エスカレーターの脇のヘルプボックスから電話をしてもらおうといいと教えてもらい、2階に向かってエレベーターに乗った。

吉野家は結局混んでおり、近くのお蕎麦屋さんに入った。JALの1時間前の待ち時間に若干遅れたが、無事に飛行機に乗れて青森に帰ってきた。

JALの人が、とても親切だなと感じた。(記 白戸駿平)

★連載コラム★

相談支援事業所ピアネットの『たまには聞いてよ。』

～相談を受ける人々～

中村 立春 たつはる

皆さん、こんにちは。今年「平成30年」です。切りの良い数字だとこれをきっかけに何か、と考えたりするものですよね。(平成は終わりますが・・・)

前回のコラムでは、相談員として手放せないアイテムである「手帳」の話を書かせて頂きましたが、今回も欠かせないアイテムの紹介をしたいと思います。「マナー」です。

我々相談員は、日々相談者宅・事業所・行政など各関係機関へ出向く業務が主となります。そのような状況の中で、出先での「マナー」は相談員個人だけでなく当事業所の評判にも直結します。特に自宅訪問では「マナー」もしくは「礼儀・作法」に気を配ります。(挨拶、口調、身なり、名刺交換、靴やスリッパを揃える、座る位置など)

ただ、現代社会において、日本の古くから伝わる「礼儀・作法」は段々と薄れてきているのは事実でしょうし、実践しても気づく人自体が減っている状況かと思えます。私もその一人で全く詳しくはありません。

しかし、それでも最低限の「マナー」は大切であると感じています。私自身のそれは、専門家から見れば最低レベルだと思います。けれど、上級レベルでなくとも「マナー」に気を配ることは、個人や当事業所の評価を下げることはないですし、何より相手側とのコミュニケーションを円滑にする重要な要因となります。出会った最初に、「わ、失礼な奴!」と思われたらその後のコミュニケーションは上手くいきません。

福祉の世界ではよく「社会性」という言葉が使われますが、「マナー」などはこの「社会性」の内側に存在するものと考えます。だとすれば、このアイテムは結局のところ、相談員だとか障害者だとか健常者だとかは関係なく、みんなが取得すべきマストアイテムなのかもしれません。

年賀状&福祉展
売上報告

青森県総合福祉展が

11月11日・12日にマ

エダ・ガーラモール店1

階催事場で行われまし

た。スタジオとまとも

エコ紙や手芸品などを

販売しました。二日間

の売上合計は **10,800**

円でした。ご来場あり

がありがとうございました。

スタジオとまとオリジ

ナル年賀状売上は

390,199 円でした。

お買い上げありがとう

ございました。



新人紹介



名前:松谷 優美 ゆみ
生年月日:平成元年7月12日

趣味:旅行
好物:お肉と麺類

抱負:12月1日に入社しました松谷と申します。福祉の仕事は未経験の仕事で至らない点も多々あるかと思いますが、1日でも早くお役に立てるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



名前:齊藤 満 みつる
生年月日:昭和40年10月23日

趣味:DVD鑑賞
好物:甘い物、焼きそば

抱負:左手のマヒの回復を中心に頑張っって色々な作業が出来る様に成っていきたくて考えています。今年もよろしくお願い致します。

編集後記

- ラインメール観戦! 終了間際の加点での勝利! 大興奮! 日本代表よ、見習いたまえ(笑い)(N)
- 今年は、海外旅行に行ったことがないので、行ってみたい。(s.s)
- 今年はW杯イヤー。楽しみです。(S)
- 大相撲は、年に4回でいいと思う(広)
- 3ヶ月くらいずっと風邪ひいてましたが、最近ようやく治りました。11月には悪化して入院したので、ほっとしてます。(西滝)
- 知らなかった・・・歯のかみしめ、くいしばりに要注意! 只今歯医者にて治療中。身体の様々な不調の原因になるそう。詳しくはお問い合わせください(;) (M)